HTML 演習

HTML 演習 No.10 (CSS 応用)

課題 1 以下の HTML を入力する。(疑似要素)

ファイル名: ensyu10_1.html

```
<!-- 作成日:20XX/XX/XX -->
<!-- 作成者:情報 太郎 -->
                            【疑似要素の設定】
<!DOCTYPE html>
                            ・セレクタにコロンを2つ
<html lang="ja">
                             つけて指定
 <head>
  <meta charset="UTF-8" />
  <title>疑似要素の練習</title>
                           セレクタ: 疑似要素 {
  <style type="text/css">
    h3::before {
                             スタイル: 値;
     content: "★";
    a::after {
     content: url(img/arrow.png);
     vertical-align: middle;
    p.letter::first-letter {
                         content: [疑似要素に入れる内容];
     font-size: 2em;
                         ・content プロパティの値には、
    p.line::first-line {
                          追加したいマーク(文字や画像
     color: #f0f;
                          など)を記入
  </style>
 </head>
 <body>
  <h3>タイトルの先頭に星マークを追加</h3>
  <a href="#">語尾に矢印の画像を追加</a>
  日本では、正月におせちやお雑煮を食べる文化があります。お雑煮
は地域によって具材や味付けが様々です。
  このように1文字目だけ、また1行目だけスタイルを変えることに
よって、読みやすくなります。長文が続くときのアクセントにもなります。
  </body>
</html>
```

[実行結果]

★タイトルの先頭に星マークを追加

語尾に矢印の画像を追加→

□ 本では、正月におせちやお雑煮を食べる文化があります。お雑煮。 は地域によって具材や味付けが様々です。

このように1文字目だけ、また1行目だけスタイルを変えることによ って、読みやすくなります。長文が続くときのアクセントにもなりま す。



●や★などの記号は HTML のテキストには本来必要ない、単なる装飾なので ■ HTML には記述しないほうがよいとされている。

疑似要素を使うと HTML の文章構造に影響を与えることなく、CSS だけを 使って装飾や補足的な情報を追加できるのがメリット。

課題 2 以下の HTML を入力する。(疑似クラス)

```
ファイル名: ensyu10_2.html
                                【疑似クラスの設定】
<!-- 作成日:20XX/XX/XX -->
                                ・セレクタにコロンを1つ
<!-- 作成者:情報 太郎 -/->
                                 つけて指定(
<!DOCTYPE html>
                                 ※半角スペースは入れない
<html lang="ja">
  <head>
   <meta charset="UTF-8" />
                               セレクタ:疑似クラス {
   <title>疑似グラスの練習</title>
   <style type="text/css">
                                 スタイル: 値;
     a {
      text-decoration: none;
      transition: background-color 1.0s;
     a:link { color: #00f; }
     a:visited { color: #f0f; }
     a:hover { background-color: #ff0; }
     a:active { background-color: #f00; }
     a:focus {
      outline: none;
                             transition: [変化させるプロパティ]
       border: 4px solid #0f0;
                             [変化にかける時間];
     li:nth-of-type(even){
                             ・通常時の背景色は白、ホバー時は
      background-color: #ccc;
                              黄色なので、1秒かけて白から黄色
   </style>
                              に変化する。(すべてのプロパティ
  </head>
                              を変化させるには all と記述する)
  <body>
   <l
     <a href="http://example.com">未訪問リンク</a>
     <a href="https://www.hcs.ac.jp/"> 訪問済みリンク</a>
</a>
     <a href="http://example.com">ホバーでスタイル変更</a>
</a>
     <a href="http://example.com"> クリックしている間</a>
</a>
     <a href="http://example.com">フォーカス時</a>
```

</body>
</html>

[実行結果]

١.	[关1]和未]				
	:link	訪問したことがないリンク	:visited	訪問したこ。	とのあるリンク
	未訪問リンク訪問済みリンクホバーでスタイル変更クリックしている間フォーカス時		未訪問リンク訪問済みリンクホバーでスタイル変更クリックしている間フォーカス時		
	:hover	マウスが乗っている間	:active	クリックし	て離すまでの間
	 未訪問リンク 訪問済みリンク ホバーでス: hm/l変更 クリックしている間 フォーカス時 		未訪問リンク訪問済みリンクホバーでスタイル変更クリックしている間フォーカス時		
	:focus	キーボード操作でリンク箇 所にフォーカスされたとき	:nth-of-t	ype(even)	偶数番目の 要素
	未訪問リンク訪問済みリンク		:nth-of-t	ype(odd)	奇数番目の 要素
	ホバーでスタイル変更クリックしている間フォーカス時		ちなみに…nth はエヌスと読むっぽし n:number		
			th:番目(1th,2th,3th,4th,5th…)		



よく使うのは「:hover」。リンクやボタンのデザインをスタイリングして□ マウスオンでスタイルを変えれば、ユーザも操作しやすいページになる。